

会 議 録

会 議 の 名 称	弘前市指定管理者選定等審議会																																										
開 催 年 月 日	令和5年10月12日(木)																																										
開 始 ・ 終 了 時 刻	8時59分 から 11時06分まで																																										
開 催 場 所	弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室																																										
議 長 等 の 氏 名	奈良 道明																																										
出 席 者	委員 飯島 裕胤 委員 菊池 励美 委員 小林 太郎 委員 番場 邦夫 委員 奈良 道明(会長)																																										
欠 席 者	欠席委員なし																																										
施設所管部職員の名	<p>※審議順</p> <p>(弘前職業能力開発校)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">商工部長</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">西谷</td> <td style="width: 20%;">慎吾</td> </tr> <tr> <td>商工労政課長</td> <td style="text-align: right;">福士</td> <td>智広</td> </tr> <tr> <td>商工労政課課長補佐</td> <td style="text-align: right;">澁谷</td> <td>卓</td> </tr> <tr> <td>商工労政課主幹兼雇用支援係長</td> <td style="text-align: right;">石岡</td> <td>なおこ</td> </tr> <tr> <td>商工労政課主査</td> <td style="text-align: right;">高橋</td> <td>純一</td> </tr> </table> <p>(弘前市伝統産業会館)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">商工部長</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">西谷</td> <td style="width: 20%;">慎吾</td> </tr> <tr> <td>産業育成課長</td> <td style="text-align: right;">太田</td> <td>尚亨</td> </tr> <tr> <td>産業育成課課長補佐</td> <td style="text-align: right;">佐藤</td> <td>龍太</td> </tr> <tr> <td>産業育成課総括主査</td> <td style="text-align: right;">秋元</td> <td>紗織</td> </tr> </table> <p>(弘前市宮川交流センターほか計11グループ)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">市民生活部長</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">岩崎</td> <td style="width: 20%;">隆</td> </tr> <tr> <td>市民協働課長</td> <td style="text-align: right;">高谷</td> <td>由美子</td> </tr> <tr> <td>市民協働課課長補佐</td> <td style="text-align: right;">齊藤</td> <td>弘行</td> </tr> <tr> <td>市民協働課市民生活係長</td> <td style="text-align: right;">対馬</td> <td>真</td> </tr> <tr> <td>市民協働課主査</td> <td style="text-align: right;">中畑</td> <td>まどか</td> </tr> </table>	商工部長	西谷	慎吾	商工労政課長	福士	智広	商工労政課課長補佐	澁谷	卓	商工労政課主幹兼雇用支援係長	石岡	なおこ	商工労政課主査	高橋	純一	商工部長	西谷	慎吾	産業育成課長	太田	尚亨	産業育成課課長補佐	佐藤	龍太	産業育成課総括主査	秋元	紗織	市民生活部長	岩崎	隆	市民協働課長	高谷	由美子	市民協働課課長補佐	齊藤	弘行	市民協働課市民生活係長	対馬	真	市民協働課主査	中畑	まどか
商工部長	西谷	慎吾																																									
商工労政課長	福士	智広																																									
商工労政課課長補佐	澁谷	卓																																									
商工労政課主幹兼雇用支援係長	石岡	なおこ																																									
商工労政課主査	高橋	純一																																									
商工部長	西谷	慎吾																																									
産業育成課長	太田	尚亨																																									
産業育成課課長補佐	佐藤	龍太																																									
産業育成課総括主査	秋元	紗織																																									
市民生活部長	岩崎	隆																																									
市民協働課長	高谷	由美子																																									
市民協働課課長補佐	齊藤	弘行																																									
市民協働課市民生活係長	対馬	真																																									
市民協働課主査	中畑	まどか																																									

事務局職員の名 職 氏 名	<p>管財課長 工藤 浩  管財課公共施設マネジメント推進室総括主幹 坪田 幸治  管財課公共施設マネジメント推進室総括主査 富田 正史  管財課公共施設マネジメント推進室主査 工藤 早史  管財課公共施設マネジメント推進室主査 工藤 寛明</p>
会議の議題	<p>案件  1. 弘前市宮川交流センターほか計13施設の指定管理者候補者の選定について</p>
会議結果	<p>1. 弘前市宮川交流センターほか計13施設の指定管理者候補者の選定について</p> <p>(1) 弘前市宮川交流センター  和徳学区町会連合会を弘前市宮川交流センターの指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(2) 弘前市清水交流センター  清水交流センター管理運営委員会を弘前市清水交流センターの指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(3) サンライフ弘前  「サンライフ弘前」管理運営委員会をサンライフ弘前の指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(4) 弘前市千年交流センター  千年地区町会連合会を弘前市千年交流センターの指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(5) 弘前市三省地区交流センター  三省地区交流センター運営委員会を弘前市三省地区交流センターの指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(6) 弘前市町田地区ふれあいセンター  町田地区ふれあいセンター運営委員会を弘前市町田地区ふれあいセンターの指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(7) 裾野地区体育文化交流センター  裾野地区町会連合会を裾野地区体育文化交流センターの指定管理者候補者に選定する。</p>

	<p>(8) 新和地区体育文化交流センター 新和地区町会連合会を新和地区体育文化交流センターの指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(9) 岩木嶽さわやかホール 常盤野町会を岩木嶽さわやかホールの指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(10) 岩木常盤野コミュニティセンター 岩木常盤野コミュニティセンター管理組合を岩木常盤野コミュニティセンターの指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(11) 昴地区集会所 昴町会を昴地区集会所の指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(12) 弘前職業能力開発校 職業訓練法人弘前職業訓練協会を弘前職業能力開発校の指定管理者候補者に選定する。</p> <p>(13) 弘前市伝統産業会館 弘前市伝統産業会館管理運営委員会を弘前市伝統産業会館の指定管理者候補者に選定する。</p>
<p>会議資料の名称</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案件対象施設及び指定管理者候補者選定結果一覧表等（資料1）</li> <li>・ 指定管理者選定等審議会小委員会委員評価結果一覧及び各委員評価（資料2：参考資料）</li> <li>・ 指定管理者制度に係る今後のスケジュール（資料3）</li> </ul>

<p>会 議 内 容</p>	<p><b>【以下、質疑等の概要】</b></p> <p><b>(議長)</b> 全体の概要について、事務局の説明を求める。</p> <p><b>(事務局)</b> 本日は、弘前市宮川交流センターほか計13施設の指定管理者候補者の選定についてご審議いただく。 審議する施設は、施設所管課において募集の受付を行い、施設を所管する各部の小委員会にて総合評価方式による評価を行ったもの。 なお、全て非公募で募集を行っている。</p> <p><b>(議長)</b> 弘前市宮川交流センターほか計13施設の指定管理者候補者の選定について、審議を行う。 会議の進め方は、資料1により募集グループごとに担当部からの説明及び質疑を行い審議する。</p> <p><b>■弘前職業能力開発校</b></p> <p><b>(議長)</b> それでは、商工部から弘前職業能力開発校の選定案について説明をお願いします。</p> <p>＜施設所管部 説明＞</p> <p><b>(議長)</b> 以上の説明について、質問や意見はないか。</p> <p><b>(委員)</b> 課題として若い人材の育成が不可欠でその確保が必須だとの記載があるが、市としてどう考えているか。 人数だけでなく、受講生をどれだけ質的に高度にできたかという点も一つの考え方としてあるかと思うが、方針などをお聞きしたい。</p> <p><b>(施設所管課)</b> 利用者等のアンケートを実施して、その結果を講師も含めて情報共有し、次につなげていくということをお話している。利用者を増やすことは大事なので、校長が各事業所を訪問して周知を行い、訓練の効果をしっかりと伝えていくということを申請者が話していた。</p>
----------------	---

**(委員)**

周知をしっかりとしていくということだが、この施設自体は業界的には既に知られたものだと思う。それでいても絶対的な訓練生の減少ということだが、外国人の技能実習生も訓練の対象となり得るとすれば今後拡大していくかもしれないと思う。

講師の謝金はどのような積算になっているか。

**(施設所管課)**

講師謝金は時給 1,500 円で、時間数に応じて謝金を支払う形になっている。

**(委員)**

利用者の確保を図る計画についてヒアリング時に追加提案があったとのことだが、具体的な提案内容は。

**(施設所管課)**

まずは施設を快適な環境で利用していただくために清掃や美化に努めるとともに、パンフレットの作成配布や会報の発行によって内容の周知を図るとのこと。また、訓練生募集については、協会を構成する各組合を通じて周知を図っていくほか、校長が直接事業所を訪問して、苦しい経営環境にあっても技術をしっかりと伝えていくよう呼びかけるということであった。

**(委員)**

そうすると事業所訪問の部分が、追加で提案があったものという理解で良いか。

**(施設所管課)**

はい。

**(委員)**

収支決算書を見ると、弘前市と西目屋村、青森労働局から補助金や助成金が出ているが、訓練生は弘前市と西目屋村以外からも来ているのか。

**(施設所管課)**

はい。近隣の市町村から訓練生が来ている。

**(委員)**

他の自治体の負担はないのか。

**(施設所管課)**

過去においては五所川原市や黒石市にも訓練施設があったが、徐々に訓練生が減ってきて、この地域では弘前市のみになった。当然、市の補助金は市内に在住している方もしくは市内の事業所に勤務する方を対象としているが、この他に職業訓練自体に国と県から補助が入っている。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは弘前職業能力開発校の指定管理者候補者について、選定案のとおり職業訓練法人弘前職業訓練協会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

<担当課入れ替え>

### ■弘前市伝統産業会館

(議長)

続いて、弘前市伝統産業会館の選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

建物を有効に活用していくという点で見ると、いくつかの団体が部屋を借りており実績も増えているように思う。一方で、選定方法等の審議の際には、公共施設予約システムで手続きできないという指摘もあった。

これらを踏まえた場合、今後どのようなあり方で貸館を拡大していくのか、あるいは現状どう考えているか。

(施設所管課)

コロナ禍で利用が大きく減ったが、現在は回復して収支も黒字という状況になっている。

伝統工芸に限らず一般の利用も含めて施設利用者を増やしていきたいという思いは市にも運営委員会にもあるので、地元町会や周辺企業、津軽塗以外の様々な伝統工芸の団体に対しても引き続き声掛けしていきたい。

予約のオンライン化は進んでいないが検討する方向で考えている。

(委員)

インターネット予約を可能にするよう考えているのか。申請者が考えているのか、市としての意向なのか。

**(施設所管課)**

現段階では、市では導入したいと考えているが、実情として申請者側での対応に課題もあるので、いろいろ検討しながら導入する方向で考えていきたい。

ただ、施設自体が老朽化していることから、今後の施設のあり方も含めて検討していく中で、オンライン化も合わせて検討したい。

**(委員)**

この施設の最も大切な意義は伝統工芸関係の人材確保であると思う。この点について申請書には、申請団体が津軽塗関係者で構成されているから振興を図ることができるを読み取れる記載がある。だとすれば、これまで同じ構成でやってきたことに対する市としての評価はどうか。

**(施設所管課)**

青森県漆器協同組合連合会という津軽塗の産地指定組合が母体であるので、津軽塗の普及啓発活動などの会場として貸し出すだけではなく実際に販路拡大の手伝いなどもできており、津軽塗の普及啓発や後継者育成などには十分に貢献しているものと考えている。

ただ、今後は津軽塗だけではなく市内に様々ある工芸品の団体等においても活用していただき、横のつながりの強化につなげていただきたいと考える。実際、若い職人を中心にこぎん刺しやブナコなどとのコラボレーションした商品も出てきているので、その動きの中で伝統産業会館も活用して人材育成につなげていければ良いなど、市と申請者ともに考えている。

**(委員)**

このあたりの方策は申請書に記載がなかったように思うが、申請者自身がそのように考えていると理解して良いか。

**(施設所管課)**

はい。ヒアリングの際に今後どのように伝統産業を振興していくかと聞いたところ、例えば他の工芸団体がセミナーやワークショップを開くなど、利用方法の提案を含めて積極的に利用を促したいという回答があった。

**(委員)**

5年後までに十分に達成できるのか。

**(施設所管課)**

現在も指定管理をしているので、次期からと言わず今から始めていきたいということだった。

**(施設所管課)**

職人の人材確保には、市としても取り組んできたが、なかなか結果が出ておらず、次期で十分に達成できると簡単に答えられるようなものではないと認識している。

ただし、昨年度から業界との意見交換の機会を増やし、職人の方々も何とかしなければという意識をもっていただけているという点で、これまでとはだいぶ状況が違う。「バカ塗りの娘」も上映され、いろいろな意味でターニングポイントに来ていると思う。我々も一緒に頑張るとしか言いようがないが、職人とのコミュニケーションを大事にして今取り組んでいる。

**(委員)**

市民の平等な利用を確保するという項目の評価が 4.2 ポイントというのはいささか高いのではないか。施設名称だけみると一般市民が利用できるとは考えにくいので、なおさら公共施設予約システムに入れて一般利用ができるということを明示すべきと思う。申請者にも指導していただき、市民の利用の確保に努めてほしい。

**(委員)**

津軽には地域文化に根差した伝統工芸が沢山あるので、相乗効果を生みだすきっかけを作る施設になることを切に願う。

そのためには、団体の構成員に他の伝統工芸の方を入れるとか、半ば強制的に交流するような仕組みを設けるなど、積極的な仕掛けが必要だと思う。そうでなければ 5 年での達成は難しいだろう。

津軽塗の団体だけで構成されていることがむしろ高評価になっているような印象を受けるが、やはりコラボレーションして相乗効果や付加価値を生む方向に進んでほしい。

**(施設所管課)**

オンライン化についてはシステムの所管部署等とも相談しながら進めたい。

また、今回の募集に当たっては非公募としていたため変更は難しかったが、今後、施設のあり方も含めて検討していく中で、他の工芸の方が管理運営委員会に加わることもについても検討したい。委員会に参画しないまでも、施設内で会議やセミナーを開いたりコミュニケーションを図ったりしながら、時間はかかるかもしれないが新しい組織を作ることも含めて考えたい。

**(委員)**

申請者も他の工芸との交流等を促進していきたいという考えであるとのこと少し安心した。その方向で進んでいるか、市としてもしっかりモニタリングしていただきたい。

料金収入が 35 万円程度だが施設の稼働率はどの程度か。

**(施設所管課)**

稼働率は算出していない。ただ、令和 4 年で 121 件の利用が

あったので、およそ3分の1程度の稼働率かと思われる。

(委員)

3分の1ではちょっと少ない気がするので、ぜひ利用を促進していただきたい。

(委員)

令和4年度の収支決算において市から補償金がでていますが、これは新型コロナウイルスの関係での休館に伴うもので、今後も恒常的に見込める収入ではないという理解でよいか。

(施設所管課)

新型コロナウイルス感染拡大時の休館に対する補償であり、今後はないものとする。

(委員)

この施設に冷房設備はついているか。昨今かなり暑いので、利用に影響するように思われるが。

(施設所管課)

エアコンはなく、夏は窓を開けている状態であるので、夏場の利用率の低さに関係していると認識している。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは弘前市伝統産業会館の指定管理者候補者について、選定案のとおり弘前市伝統産業会館管理運営委員会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

<担当課入れ替え>

## ■弘前市宮川交流センター

(議長)

続いて、弘前市宮川交流センターの選定案について説明をお願いする。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

**(委員)**

豊富な自主事業が挙げられており、ヨガサークルなど多くの人数を集める計画だが、この想定人数は実績に基づくものか。

**(施設所管課)**

継続事業はこれまでの実績、新規事業については会場となる部屋の大きさや類似事業の実績から想定している。計画なので多めに見積もっている面もあるかと思うが、それほどかけ離れたものではないと認識している。

**(委員)**

どの事業が実績に基づくものか。

**(施設所管課)**

カラオケサークル合同発表会、ダンスパーティー、ヨガサークル、お茶会については実績に基づく。

**(委員)**

非常に良い実績だと思うが、人が集まる仕組みや施設特有の気風などがあるのだろうか。

**(施設所管課)**

宮川交流センターの特色としてサークル活動が活発であることが挙げられる。そのため、指定管理者としては、サークル活動の合同発表会などを行うことで新たな会員を求めていきたいというところで自主事業を計画しているもの。

**(委員)**

自主事業の面で宮川交流センターは他に抜きんできた成果をあげている。参加人数だけが評価ポイントではないし、文化的なものやエリア毎の考え方の違いはあるとは思うが、他の交流センターにも共有して一つのお手本にさせていただけたらと思う。

**(委員)**

和徳学区町会連合会としての事業を、宮川交流センターにおいて自主事業としてやっているという捉え方なのだろうか。

**(施設所管課)**

あくまで町会連合会ではなく交流センターとしての事業という理解。

**(委員)**

形としてはそうだと思うが、実情としてはそのような印象を受ける。決して否定的な意味で言っているのではなく、学区全体からうまく人を集めている印象であるので、ぜひこういう使い方をしていただきたいという趣旨である。

**(委員)**

今の点でいうと、町会の活動を盛り上げることも施設の目的の一つであろう。だからこそ非公募にして町会組織に任せてい

ののだと。市民の交流を活発にするという目的に沿って事業を行い、それを拡げていただきたい。

**(委員)**

各施設の自主事業をみると、施設の規模に関わらず非常に活発なところと活発でないところが極端な感じがする。宮川交流センターは、活発な町会組織と指定管理がうまく動いて、文化がよく継承され活性化し、そして施設が利用されている。

基本的に指定管理者の募集は全て公募にすべきという考えではあるが、宮川交流センターについては非公募であることが成功しているのかなと思う。

他の交流センターの指定管理者にもノウハウを伝えていただき、活性化に取り組んでいただきたい。

**(委員)**

成果指標の利用者数の目標値が高くなっている。これまでの達成状況をみると新型コロナウイルスの影響で令和2年度と3年度が低かったことはあるものの、市としてはもっと上がるという認識なのか。

**(施設所管課)**

新型コロナウイルス感染症の影響により現指定期間は達成度がかなり低かったため、まずはコロナ禍以前に回復することを目標にしていきたいと考えている。

そのため、基本的には平成28年度から30年度の3か年平均を目標値として掲げているが、既にその目標値を越えているため令和4年度実績の1割増とした施設もある。

**(委員)**

平成30年度の利用者数をみると目標の37,128人に対する実績は30,073人だが、以前は目標値がかなり高く設定されていたと理解してよいか。

**(施設所管課)**

現指定期間は平成31年度から令和5年度までであり、平成30年度は前期間の目標値のため目標値に差が生じているもの。

**(委員)**

昔は今よりももっと利用されていたということか。

**(施設所管課)**

はい。平成31年度以降の目標値については平成28年度から平成30年度の3か年の平均だが、この頃は利用者の実績が年々下がってきた時期であった。

**(委員)**

他の施設に比べて利用されているものの、実際は以前に比べて利用者が減ってきているということか。

**(施設所管課)**

はい。例えば、一つのサークルにかつては20人いたが、現在は10人という場合もあるので、利用件数に対しても利用者数は減ってきている。

**(委員)**

新型コロナウイルスを契機としてエアコンの設置が進んだと記憶しているが、各交流センターにおいて主に利用されている部屋で、現在もエアコンがついていないところはあるか。

**(施設所管課)**

施設によって状況が異なっており、例えばサンライフ弘前は全室にエアコンがついているが、その他では一室にしかついていないところもある。

新型コロナウイルスの感染拡大時にエアコンを設置した際の基本的な考え方としては、事務室には必ずつけることと、施設の中で最も稼働率の高い部屋には設置されているようにすることであった。

ただ一方で、やはりエアコンがついている部屋の方が夏場の稼働率が高くなるのは当然なので、違う部屋にもつけてほしいという要望は指定管理者からもいただいている。

**(委員)**

実際、エアコンの設置前に比べて夏場でも利用者が減らないなどの効果はあったのか。

**(施設所管課)**

実際の数値は取得していないが、まずエアコンのある部屋から予約が埋まっていくと指定管理者からは聞いている。

**(議長)**

ほかに質問等よろしいか。それでは弘前市宮川交流センターの指定管理者候補者について、選定案のとおり和徳学区町会連合会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

**(議長)**

では、選定案のとおり決定する。

**■弘前市清水交流センター**

**(議長)**

続いて、弘前市清水交流センターの選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

**(議長)**

以上の説明について、質問や意見はないか。

**(委員)**

立地が良く利用者数も宮川交流センターと遜色ないと思うが、一方で自主事業は宮川交流センターほどではない。施設管理者の考え方の違いが出ているということか。

**(施設所管課)**

市としては自主事業の実施をお願いしているが、その実施や事業数、事業内容は各指定管理者の考え方による。

**(委員)**

本件の申請者は、例えば自主事業以外の部分に力を入れる考え方なのか。そうでないならば自主事業を盛り上げていただきたいと思うのだが。

**(施設所管課)**

そのような考えはないかと思う。

**(委員)**

申請書を見る限り、盆踊りの事業で参加者が20人とは感覚的に少し寂しいのではないか。

**(施設所管課)**

事業計画書に詳しい記載がないが、おそらく盆踊りに向けて踊りを教える事業である。町会が清水交流センターを会場として盆踊りを実施しており、子どもたちにも伝統芸能を教えたいという発言がヒアリングの際にも申請者からあった。このことから、地域の盆踊りを伝承していくという趣旨での自主事業だと思われる。

**(委員)**

町会に非公募で指定しているが、そもそもの話として市の交流センターは町会を中心に利用してほしいと考えているのか、それとも町会以外の方の利用も活性化してほしいという思いで指定管理者をお願いしているのか。

**(施設所管課)**

利用に関しては地域に限定するものではないが、市内各地域にコミュニティ施設として配置していることから、まずは地域の方に利用いただくことが第一義だと思う。そのうえで、市内全域もしくは近隣市町村の方に利用していただくものと捉えている。

**(委員)**

総括的な話として、地域のコミュニティの拠り所としての交流センターが本来の姿だとは思いますが、町会そのものの必要性を感じない世代が増えて町会非加入者が多くなるとともに、少子高齢化が進み年々会員減っていくなど、町会の機能自体が今後どうなっていくかわからない状況だと思う。

こうした状況の中で、交流センターを活性化させていく指定管理者も、今後パワー不足に陥る恐れがあるのではないかと。管理者としての機能が脆弱になっているとか、指定管理者の能力に対して施設の機能とのミスマッチが生じるケースが出てくるとすれば、やはり非公募ではなく公募にしていくべきではないか。それによって、新しい発想でコミュニティという枠から出た利用の仕方も考えられていくと思う。

**(委員)**

避難所になっている交流センターでは災害情報などをテレビで見る場合もあるかと思うが、テレビの設置状況は。

**(施設所管課)**

基本的に市民の方に利用いただく貸部屋にテレビはない。事務室についても、あるところとないところがある。

**(議長)**

ほかに質問等よろしいか。それでは弘前市清水交流センターの指定管理者候補者について、選定案のとおり清水交流センター管理運営委員会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

**(議長)**

では、選定案のとおり決定する。

**■サンライフ弘前**

**(議長)**

続いて、サンライフ弘前の選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

**(議長)**

以上の説明について、質問や意見はないか。

**(委員)**

応募書類に添付されている指定管理者の特別会計決算報告書に自販機設置に係る収入の記載がある。おそらく団体にとっては大きな金額だと思うが、これについては指定管理との関係でどのように理解すればよいか。

**(施設所管課)**

この収入は、指定管理者が施設に設置した自動販売機の売り上げに係る手数料が入ってきているもの。

なお、施設の電気料を市がまとめて支払っているので、自動販売機の電気料は市から指定管理者に別途請求している。また、建物の使用面積に応じた行政財産使用料も市に収めていただいております、それらに係る支出も決算報告に記載されている。

**(委員)**

自主事業が少ない割に自動販売機の手数料収入がとてもあるので、一般利用者がかなりいるのだと思う。

実際、サンライフは町会の施設というよりは市民の施設という意識が我々にもあるので、自主事業の計画がおとなしいことから、かえって施設のイメージと釣り合っていない印象がある。

**(施設所管課)**

サンライフは大変稼働率の高い施設であり、市民のサークル活動の他に一般企業の説明会や会議などの利用も大変多い。

この施設にはトレーニング室と体育室があるので、申請者としてはこれらの利用をもっと高めていくために、運動に関する自主事業を計画している旨、ヒアリングの際に説明があった。

**(委員)**

施設の的にも歴史的にもアドバンテージがある施設なので、一般利用が多すぎて予約の空きがないという状況でない限りは、施設の更なる活用のためにもっと自主事業を頑張ってもらいたい。また、できればこの施設は今後公募にしていきたいと思います。

**(委員)**

自主事業の計画書を見ると、ヨガ教室で20人との記載がある。さきほど審議した宮川交流センターの実績では80人となっていたが、なぜこれだけ差がでるのか。

**(施設所管課)**

ヨガ教室については、実際に使用する部屋の大きさや講師が何人まで教えられるかで人数が設定されていると理解している。

**(議長)**

ほかに質問等よろしいか。それではサンライフ弘前の指定管理者候補者について、選定案のとおり「サンライフ弘前」管理

運営委員会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

### ■弘前市千年交流センター

(議長)

続いて、弘前市千年交流センターの選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

施設の規模感がイメージできていないのだが、町田や三省の交流センターと比べて自主事業がおとなしい印象を受ける。要因は何だと考えるか。

(施設所管課)

三省は小ぶりの交流センターで、町田は浴室と屋内の土の体育室を持っているという特色がある。千年はバスケットゴールがあるため体育室の利用率が大変高い施設だが、なかなか自主事業をしていただけていないところに市としても課題を感じている。市によるモニタリングの際にも実施をお願いしているが、指定管理者としては、まだコロナ禍なので人を集めることはしたくない考えである。

ただ、以前はお菓子作りやフラワーアレンジメントなどを行っていた実績があるとヒアリングの際に聞いているほか、自主事業ではないが町会の祭りを交流センターで行い、それをバックアップするという形で、交流センターが活用されているところである。

(委員)

体育室があるならば、それを利用するような自主事業を考えていただきたい。体育室の利用が多すぎて自主事業ができないのならば別だが、もはや新型コロナという理由でやれない時期ではないと思うので、自主事業をやっていただけるように働きかけをお願いしたい。

(委員)

三省、町田の交流センターと同様に筋力向上トレーニング教室が行われていると思うが、エアコンの有無で夏場の環境がだいぶ違うと思われる。具合が悪くなったりする人がいなければよいと思うが、その辺の状況が分かれば教えていただきたい。

(施設所管課)

町田については、トレーニング教室が行われている部屋にエアコンがついてない。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは弘前市千年交流センターの指定管理者候補者について、選定案のとおり千年地区町会連合会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

## ■弘前市三省地区交流センター

(議長)

続いて、弘前市三省地区交流センターの選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

この施設は他に比べて規模が少し小さめだが、自主事業をかなり積極的にやられる計画であり非常に評価できると思う。

どうしても地理的な条件や施設のキャパシティなどの面で施設利用が少ないのであれば、むしろ町会の活性化に生かしていくといったやり方が良いのではないか。そういった意味で、この施設はモデルケースになるかと思うので、今後さらに活発な自主事業が行われることを期待する。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは弘前市三省地区交流セン

ターの指定管理者候補者について、選定案のとおり三省地区交流センター運営委員会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

### ■弘前市町田地区ふれあいセンター

(議長)

続いて、弘前市町田地区ふれあいセンターの選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

事業報告書に大雨洪水のためセンターの利用を休止という記載がある。交流センターは避難所になるイメージがあるが、ここは逆に使えなくなる施設なのか。

(施設所管課)

町田地区ふれあいセンターは指定避難所となっているが、想定最大浸水深が 0.5～3.0m未満と水害に関して弱いエリアであるため、洪水時は避難不可となっているもの。

(委員)

さきほど話題になった筋力向上トレーニング教室が行われているうえに、自主事業として健康づくり教室などの健康寿命を伸ばすための事業が行われているので大変良いと思う。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは弘前市町田地区ふれあいセンターの指定管理者候補者について、選定案のとおり町田地区ふれあいセンター運営委員会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

■裾野地区体育文化交流センター

(議長)

続いて、裾野地区体育文化交流センターの選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

参加費 0 円の自主事業があるが、他の施設では参加費として 100 円いただいている施設もあるので、他との比較で少し気になるところ。各指定管理者の考え方かとは思いますが、市としてはどのような取り扱いでも構わないものか。

(施設所管課)

はい。自主事業の予算については指定管理者に任せている。参加費をとらないものについては指定管理者の自主財源で賄っており、例えば自動販売機による収益などが充てられる。

(委員)

参加費は事業の意義や応募者の多寡などで決めればよいと思う。そういう意味では、体幹トレーニング教室などは参加者が多いかもしれないが、おそらく町会としてはむしろ無料にして健康づくりにいかすという考えなのかと思う。これについて特段異論があるというわけではない。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは裾野地区体育文化交流センターの指定管理者候補者について、選定案のとおり裾野地区町会連合会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

■新和地区体育文化交流センター

(議長)

続いて、新和地区体育文化交流センターの選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

稼働率が低い部屋を活用した事業ということで、自主事業で料理教室が行われている面があることを理解した。そもそも調理室は、どの施設でもおそらく稼働率が低いので、今後公共施設に設置する際には必要性等を十分考えていただきたい。

これ自体に異論はないが、念のため確認したい。料理教室の総経費が132円であるが、これはどう理解すべきか。

(施設所管課)

この料理教室は、地域の方が講師となって料理を教え合う形式をとっており、食材等も持ち寄っているため経費は保険料のみとなっているもの。

なお、参加者からは専門的な講師を呼んでもらいたいという声も出ているとのこと、今後、仮に講師を呼ぶことになれば参加費をいただく形になるかと思う。

(委員)

自主事業で他の施設と比べると数は少ないが、これは何かこの施設の特性によるものなのか。

(施設所管課)

もう少しやっていただきたいとは考えており、ヒアリングの際に確認したところ、令和4年度にふくろうの巣箱づくりを行って好評だったという回答があったので、市としてもそのようなものを続けていただくよう改めて要請したい。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは新和地区体育文化交流センターの指定管理者候補者について、選定案のとおり新和地区町会連合会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

## ■岩木嶽さわやかホール

(議長)

続いて、岩木嶽さわやかホールの選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

地理的条件など様々な要因で利用者の確保が難しいことは理解できる。利用者の増加を図るための具体的手法として、町会の行事やイベント時に積極的に活用するという提案がなされているが、これまでの実績を教えてほしい。

(施設所管課)

ホールにおいて卒業式後の謝恩会を行った実績があると聞いている。

(委員)

自主事業は基本的に行わない形のようなのだが、この謝恩会の開催等は自主事業とは言えないという整理か。

(施設所管課)

基本的には町会の集会所的な役割を果たしているので、町会の行事イコール自主事業と考えてよいかと思う。

(委員)

イベントが町会の活性化につながるのであれば、ぜひやっていただきたい。自主事業としてあげる必要はないかもしれないが、見える化をすることで3施設で共有でき、工夫していけるのではないか。

(委員)

市として利用実態をしっかりと把握されているということによいか。

(施設所管課)

人数や利用収入がいくらか程度の報告は受けているが、利用の中身までは報告をいただいていない。

(委員)

そうであるならば、次回更新の時になるかもしれないが、利

用実態がわかるような資料を添付していただいて共有し、活用していただけるようお願いする。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは岩木嶽さわやかホールの指定管理者候補者について、選定案のとおり常盤野町会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

### ■岩木常盤野コミュニティセンター

(議長)

続いて、岩木常盤野コミュニティセンターの選定案について説明をお願いする。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

令和4年度の収支決算書を見ると繰越金が多いように思うが、これは管理組合としての繰越金ということでよいか。会費や収入の割に支出が少なく、これまでの蓄積もあって繰越金がこれだけあるということか。

(施設所管課)

はい。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは岩木常盤野コミュニティセンターの指定管理者候補者について、選定案のとおり岩木常盤野コミュニティセンター管理組合に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

	<p><b>■ 昴地区集会所</b>  <b>(議長)</b>      続いて、昴地区集会所の選定案について説明をお願いします。</p> <p>＜施設所管部 説明＞</p> <p><b>(議長)</b>      以上の説明について、質問や意見はないか。</p> <p>＜質疑等なし＞</p> <p><b>(議長)</b>      質問等よろしいか。それでは昴地区集会所の指定管理者候補者について、選定案のとおり昴町会に決定することにご異議ないか。</p> <p>＜委員了承＞</p> <p><b>(議長)</b>      では、選定案のとおり決定する。</p> <p>＜担当課退席＞</p> <p><b>(議長)</b>      審議案件は以上となるが、ほかに何かあれば伺いたい。</p> <p>＜特になし＞</p> <p><b>(議長)</b>      では、今後の予定について事務局から説明をお願いします。</p> <p>＜事務局から今後の予定について説明＞</p> <p><b>(議長)</b>      質問がないので、これで案件審議を終了する。</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>会議は非公開である。</p>